

(様式3)

事業所名 グループホームあけぼの

目標達成計画

作成日：平成28年2月2日

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	介護計画は、利用者が望む暮らしを実現するための基本となるものである。全職員で、支援している状況はうかがえるが、今後は計画の中に本人・家族、地域など利用者を取り巻く関係者も役割を担うよう盛り込み、本人のより良い暮らしが実現できる介護計画になることを期待したい。	ご本人様やご家族様及び関係者の皆様の希望や要望等をケアプランに反映しつつ、アセスメントとケアプランが連動し、全スタッフがプランの詳細を確認することで、どの入居者様のプランなのかイメージできる、より具体的なケアプランの作成を目指す。	ケアプランの見直しや必要時の変更等において、ご本人様を含めて、ご家族様等に説明と同意を得ていたが、日常生活の中で実際に行われている得意な部分や、苦手な部分ではスタッフの介入支援が必要な場面をより、アセスメント等の帳票と連動するように取り組んでいく。	6ヶ月
2	15	食事時間、職員は検食や介助を行っている。食事は1日の中でも最も楽しみな時間であることから、介助が必要な人も、その他の利用者も楽しみながら、和やかに食事が摂れる雰囲気づくりに、より一層取り組まれることを期待したい。	入居者の皆様にとって、食事が楽しみな時間であることの認識をスタッフ間で意見交換等を含めて検証し、入居者様の状態変化によって、介助が必要な方や自らのペースで食事が摂れる方も、和やかに食事の味付けや嗜好等の会話を楽しめる雰囲気づくりを目指す。	全スタッフ間で、食事を楽しむことの大切さについて、意見交換を行い、食事の時間で配慮が必要なこと等を表面化し、介助が必要な方への対応についても、改めて確認をすることで、事業所としての食事提供のあり方について、スタッフ間で認識確認を行うと共に、実践に取り組んでいく。	1ヶ月
3	13	災害はいつ発生するかわからない状況にあり、事業所の位置的な状況からも近隣住民の有事の際の協力は欠かせない。地域の協力体制と共に、近隣住民に対する働きかけも取り組むことが望まれる。また、夜間想定の実施し、いつ・どのような状況下においても対応できる力を積み重ねることを期待したい。	定期的実施されている緊急災害発生時の訓練と共に、さまざまな状況を想定し訓練を行うと共に、近隣住民との訓練の実現化を目指す。また、地域を代表とする方との訓練を通じて、地域の方に訓練に参加していただけるよう体制整備を目指す	地域主催の緊急災害発生時の訓練には参加しているものの、事業所主催の訓練には近隣住民の方や地域の方の定期的な参加はなく、地域との連携体制を築いていくために、地域を代表とする方との訓練を実施し、段階的に地域の皆様との訓練実施に取り組んでいく。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月